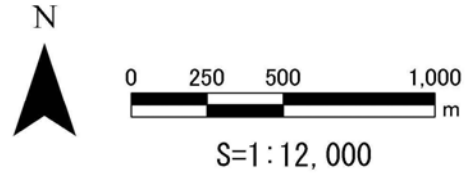
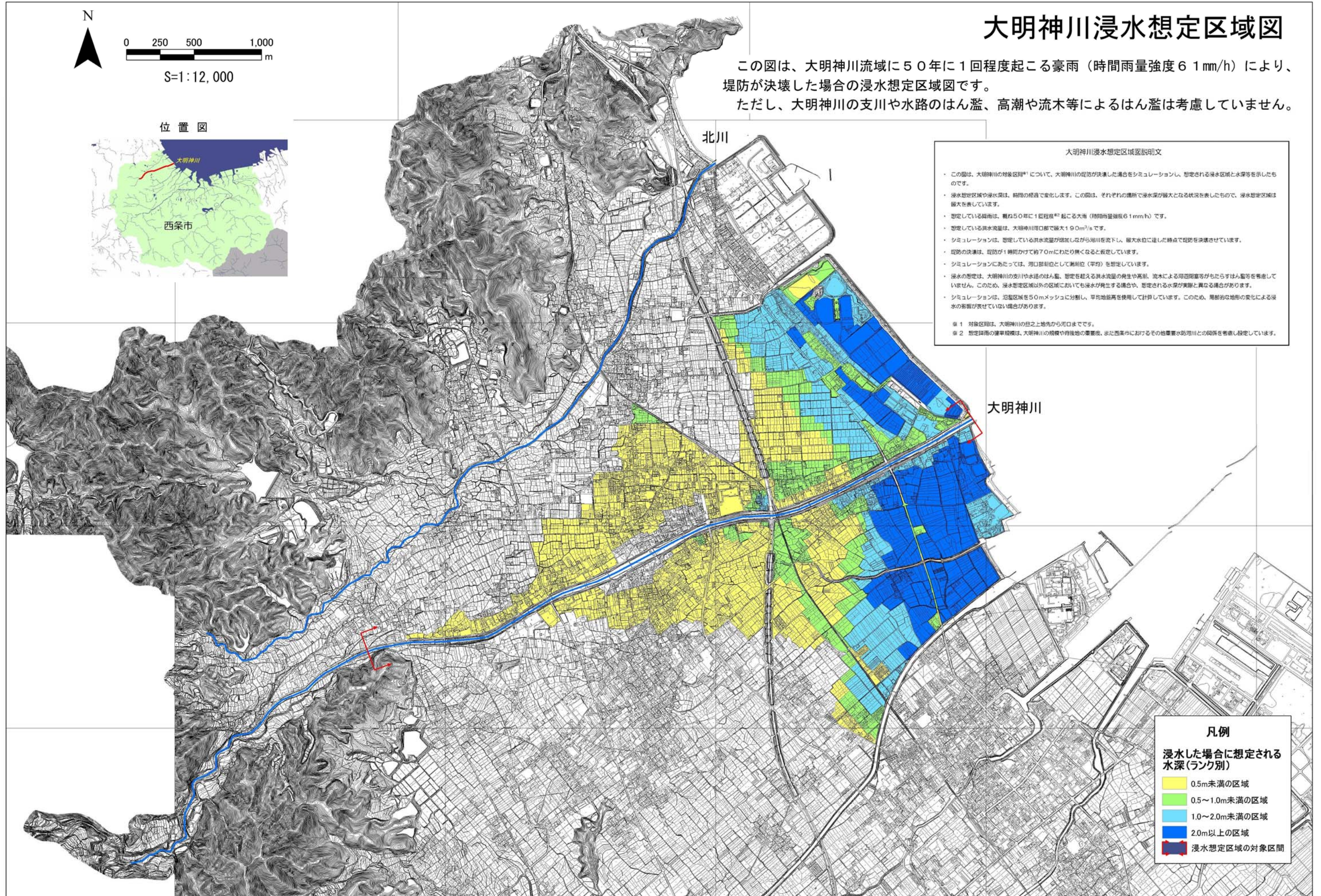


大明神川浸水想定区域図

この図は、大明神川流域に50年に1回程度起こる豪雨（時間雨量強度61mm/h）により、堤防が決壊した場合の浸水想定区域図です。
ただし、大明神川の支川や水路のはん濫、高潮や流木等によるはん濫は考慮していません。



位置図



大明神川浸水想定区域図説明文

- この図は、大明神川の対象区間^{※1}について、大明神川の堤防が決壊した場合をシミュレーションし、想定される浸水区域と水深等を示したものです。
 - 浸水想定区域や浸水深は、時間の経過で変化します。この図は、それぞれの場所での浸水深が最大となる状況を表したもので、浸水想定区域は最大を表しています。
 - 想定している降雨は、概ね50年に1回程度^{※2}起こる大雨（時間雨量強度61mm/h）です。
 - 想定している洪水流量は、大明神川河口部で最大190m³/sです。
 - シミュレーションは、想定している洪水流量が増加しながら河川を流下し、最大水位に達した時点で堤防を決壊させています。
 - 堤防の決壊は、堤防が1時間かけて約70mにわたって無くなるかと仮定しています。
 - シミュレーションにあたっては、河口部水位として測水位（平均）を想定しています。
 - 浸水の想定は、大明神川の支川や水路のはん濫、想定を超える洪水流量の発生や高潮、流木による河道閉塞等がもたらすはん濫等を考慮していません。このため、浸水想定区域以外の区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際と異なる場合があります。
 - シミュレーションは、対象区域を50mメッシュに分割し、平均地盤高を使用して計算しています。このため、局所的な地形の変化による浸水の影響が表せていない場合があります。
- ※1 対象区間は、大明神川の目之上地先から河口までです。
※2 想定降雨の標準規模は、大明神川の規模や背後地の重要度、また西条市におけるその他重要水防河川との関係等を考慮し設定しています。

凡例

浸水した場合に想定される水深（ランク別）

- 0.5m未満の区域
- 0.5～1.0m未満の区域
- 1.0～2.0m未満の区域
- 2.0m以上の区域
- 浸水想定区域の対象区間